

驚きとふしぎがたくさんあつまって 新たな問いとコミュニケーションがうまれていく

縄文文化と触れ合って、どんなことを感じたのか。みなさんが記入してくれた？！とQのカードは日に日に増えていき、それをもとに、「気になるワード」として木に足して展示していきましました。授業やワークショップに参加してくれたら、縄文人が大事にしていたことに触れて、新たな問いも生まれていきました。

縄文⇄現代⇄未来

？！とQで育っていく「縄文・気になる木」

来場者が感じた素朴な疑問にビックリ。書かれたカードがどんどん集まり、そこから気になるワードが実となり、木の展示パネルとして増えていきました。(第二弾の様子)



カードに書いて、
縄文ポストに
入れていく



2024に
生まれた問い



「縄文人のこころ」

縄文人が大切にしてきたことからヒントをもらおう

縄文の人たちの生き方をひもといていくと、人や物を大切にしながら協力や知恵を出し合って生きてきた姿が見えてきました。今に通じるものもたくさんあります。地域の学芸員のみみなさんが新聞のコラム連載をしていた内容をもとに、考えるきっかけとなるテーマをピックアップし、現代の問いへとつなげるコーナーを作りました。

集まった
？！Qのカード
約900枚！



参加型のコミュニケーションを 可視化する

会期中（第一弾）に集まったカードは約900枚！好評につき、第二弾の開催が決定し、会場内も冬の暮らしをイメージしたプチリニューアルが行われました。そのタイミングで皆さんからいただいたカードをすべて読み込み、？！とQのカテゴリーでまとめ、紹介しました。受け取ったメッセージをもとに、クロージングトークショーも開催。学芸員さんとともに考える時間をつくりました。

